

グループ活動紹介

計測機能研究会 (MFRG) 活動紹介 (丁々発止とお銚子と…)

MFRG 運営委員
生駒 亮久

Group
Activities

1. 歴史

1980年代から、東海地区では特に自動車分野で、品質工学の計測分野への適用に取り組む活動が行われてきた。さらに、(一財)日本規格協会名古屋支部において、品質工学の普及発展と地域活動の一層の推進をねらいとした研究会の設置が企画され、「計測機能研究会 (MFRG)」として1991年に発足した。

隔月で開催される研究会では、研究会メンバーから提起される事例の討議、及び矢野宏運営委員長の指導、さらに田口玄一博士がお元なころは、年1回の総合指導及び最新の品質工学についての講義が行われていた。発足10年後の構成メンバーは表1に示すとおりである。また、表2に示すように、研究発表大会にも積極的に参加し、独創的な事例発表を行った。

25年という歴史の中で、メンバーの交代や、検討された事例の数も非常に多いため、今回はこの数年の活動に絞って紹介を行ってみたい。

表1 構成メンバー (2001年)

役割	氏名
顧問	田口玄一
運営委員	矢野 宏, 神谷幸克, 阿知波正之, 酒井一昭, 五十嵐二伯
メンバー	栃洞孝吉, 中条孝則, 大野孝洋, 出野 裕, 尾関徳仁, 渡辺光夫, 福島正人, 佐藤 修
事務局	古川

表2 活動前期の大会発表履歴

年度	事例	担当
1993	溶射加工による機能性材料の開発	藤田
	品質工学の普及と方法	長屋
1998	電子部品における抵抗溶接条件の最適化	栃洞
1999	電流電圧特性評価によるヒューズ材接合条件の設定	栃洞
2000	気化器スタータ系のパラメータ設計	原

2. 研究会の日常

現在の研究会は、矢野宏運営委員長と新米の運営委員、主に東海地区を拠点とするメーカ6社11名のメンバーで構成されている。この研究会、何と言ってもその有難さは、終了後に催される行きつけの居酒屋での一杯会にある。そもそもの目的は、その日一番厳しく指導され落ち込んだメンバーをみんなで慰めることにあったらしい。この伝統は今でも続いており、酔いが回る頃には「あの事例、本当は社内事情で理想通りにはいかない！」と本音の話が飛び出し始める。各メンバーは研究会では分からなかったその話に合点し、賛同やら、はたまた自身が日頃味わっている苦労話を引き合いに出すやらで、毎回賑やかに過ぎていく。一杯会が終わる頃には、落ち込んでいたメンバーも、日常にくたびれたメンバーも、共にケロッと元気になり帰路に就けるといふ、まことに効能高い飲み会となっている。このおかげで、事例討議の席でのやりとりはいつも遠慮がなく、本質に入り込む迫力がある。そのため、新しく参加したメンバーなどは強烈な印象を受けるようで、あ